

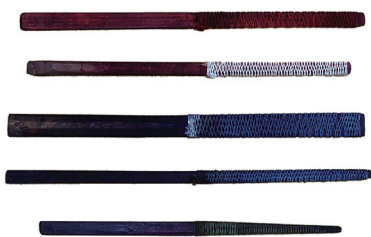
いたじめせんしょく
板締染色

絹糸に色を付ける工程は、染屋が主に行いました。板巻きの行なわれた緋板は、厚い板と太くて長いボルトでしっかりと締められ、染料に浸されます。こうすることで、緋板の溝の部分にだけ染料が流れ込み着色することができます。地糸は手作業で染料に浸し色を付けます。

板締めによって染められる色は、一種類のみに限られます。他の色は、糸を巻いた捺染棒を使用して必要な個所にすり込みます。この工程をすり込み捺染といいます。



かすりいと
 染色された緋糸



なっせんぼう
 捺染棒



① 繰返し

たて糸とよこ糸をそれぞれ枠に巻き取り、染色までの工程を容易にする。



② 整経

整経台に糸をめぐらして、長さを整える。



③ 板巻き

たて糸とよこ糸を緋板に巻き、重ねる作業。



④ 板締染色

熱した染料を長柄杓を使って板締めした糸に注ぐ。



⑤ 地糸の染色

※ 捺染棒とは、糸を巻いた棒のことで、二本一組で使い、染料を付け緋糸の色の染まっていない部分にすり込んで着色する。



⑥ すり込み捺染